

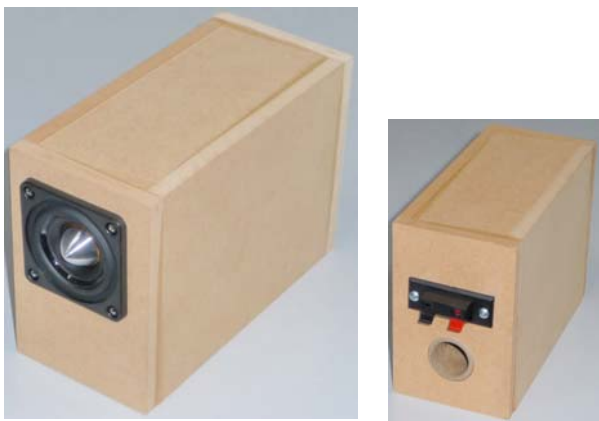
# Mini Bass Reflex Speaker System KIT

ミニバスレフ・スピーカーシステム 組み立てキット

スピーカーユニット付き  
Tang Band W2-802SE

## WP-7305B

組み立て説明書 Ver.1



**KYOHITSU**  
共立電子産業株式会社

販売元:ワンダーキットプロダクツ

〒556-0005 大阪市浪速区日本橋5-8-26

TEL(06)6644-4447 FAX(06)6644-4448

http://pure.kyohritsu.com/

難易度 ★★☆☆ 製作時間 約1日

### ●必要な工具

- ・プラスドライバー
- ・ハンダこて
- ・ハンダこて台
- ・ニッパー
- ・ワイヤーストリッパー
- ・カッターナイフ
- ・ピンバイスもしくは電動ドリル、ハンドドリル
- ・ドリルビット 2.5mm 5mm

### ●主な仕様

- ・スピーカーユニット口径 5cm
- ・外形寸法 幅78mm 高さ118mm 奥行き168mm
- ・重量 630g(スピーカーユニット込み 1台)

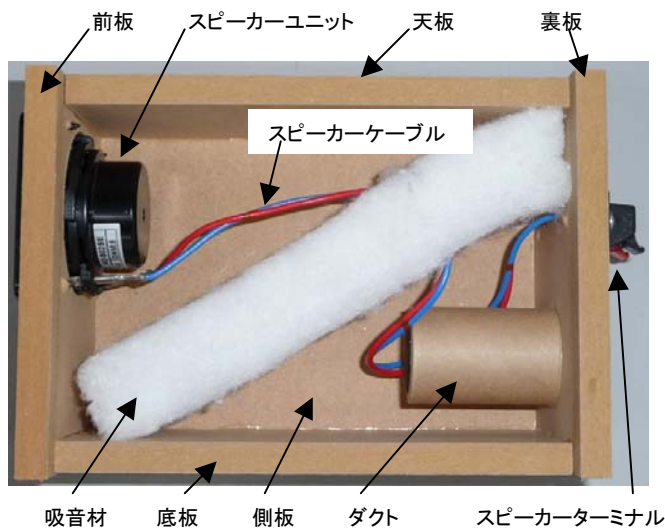
### ●お断り

本製品およびそれらを構成するパーツ類は、改良、性能向上のため予告なく仕様・外観等を変更する場合がありますを予めご了承ください。

本機はキット商品です。完成時の性能・品質・安全に関するすべてのリスクは組み立てた方ご自身に負っていただくことをご承知ください。

当社はお客様の特定の目的にかなうことや、他の機器に対して損害なきことを一切保障することはできません。またいかなる状況下、法律上、契約上のもとにおいて、間接的、付随的、あるいは結果的に生じたいかなる種類の損害に対しても一切の責任を負うことはできませんのでご了承ください。

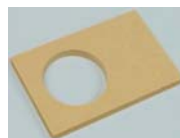
### ●内部構造



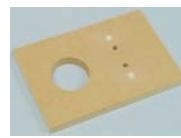
### ●ワンポイントアドバイス

- ・本機に採用している「MDF」材は、その性質上「オイル仕上げ」や「ワックス仕上げ」には適しません。水性もしくは油性塗料による「塗装仕上げ」をおすすめします。塗装作業は組み立て工程6番のあとに行ってください。
- ・強度の弱いテーブルの上などに設置すると低音がダブついたり音の明瞭度が悪くなります。叩いてもボンつかないしっかりした机や家具の上に設置されることをおすすめします。
- ・デスクトップで使用されるときは、適当な「台」などでスピーカーの前方を少し持ち上げて「耳」の方向に向くよう角度調整すると高域の減少を抑えることができます。

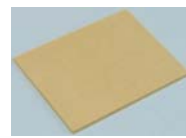
### ●パーツリスト



1.前板(2枚)



2.裏板(2枚)



3.側板(4枚)



4.天板/底板  
(4枚)



5.ダクト(2本)



6.スピーカーターミナル  
(2個)



7.スピーカーケーブル  
(赤・黒各2本)



8.吸音材(2枚)



9.木工用ボンド(1個))



10.スピーカーユニット  
(2個)

## ●組み立て手順

### 1 「裏板」に「ダクト」を接着します

ボンドをダクトの全周にムラなく塗ります

裏板の穴に差込みます

時計方向に回転させながら押し込んでゆくとボンドが均一に付着します

ボンドの色が透明になるまで乾燥させます

### 2 「側板」に「天板」を接着します

天板の端面にボンドを均一に塗ります

側板に手で押し付けて接着します  
段差が生じないように微調整しながらボンドが固まってくるまで約3~5分間押さえます  
外側にハミ出たボンドは乾かないうちに濡れ雑巾などで拭き取っておきます

直角になるように他の天板などを直角定規がわりにして確認します  
直角になっていないときはボンドが固まるまでに修正しておきます

### 3 「側板」に「底板」を接着します

天板と同じ要領で底板を接着します  
側板と直角になるようにボンドが固まるまでに調整しておきます

### 4 もう片方の「側板」を接着します

天板および底板の端面にボンドを均一に塗ります  
もう片方の側板を載せて、手で押し付けながら位置を合わせます

水の入ったペットボトルや本などを重石にして約半日自然乾燥させます  
外側にハミ出たボンドは乾かないうちに濡れ雑巾などで拭き取っておきます

### 5 「裏板」を接着します

写真のようにスキマなくボンドを塗ります

裏板を載せて手で押し付けながら位置を合わせます

水の入ったペットボトルや本などを重石にして約半日自然乾燥させます  
外側にハミ出たボンドは乾かないうちに濡れ雑巾などで拭き取っておきます

### 6 「前板」を接着します

裏板と同じ要領です

### 7 「スピーカーターミナル」をネジ止めするための下穴をあけます

裏板の穴にあわせてスピーカーターミナルを仮置きします(ターミナルのレバーが下向きになります)

鉛筆などでネジ穴の位置をマーキングします

スピーカーターミナルを一旦取り外しておきます

2.5mmのドリルで下穴をあけます(貫通穴)

写真ではピンバイスを使用していますが、電動ドリルやハンドドリルでもOKです

5mmのドリルで「皿モミ」をします  
ドリルを手で持って軽く廻します  
木ネジを締めるときにネジ周辺の木部が浮き上がり、エンクロージャーとターミナルの間にスキマが生じて空気モレが発生するのを防ぐためです

### 8 スピーカーユニット用の下穴をあけます

ターミナル用の下穴と同じ要領です

スピーカーユニットを仮置きして、鉛筆などでネジ穴の位置をマーキングします

2.5mmのドリルで下穴をあけます(貫通穴)

5mmのドリルで「皿モミ」をします

### 9 スピーカーターミナルにスピーカーケーブルをハンダ付けします

ターミナルの色とケーブルの色を合わせます

### 10 スピーカーターミナルを取り付けます

ケーブルを裏板の穴に通し、付属のネジで固定します

### 11 吸音材を入れます

端から4cmくらいのところにサインペンなどでマーキングし、カッターナイフでケーブルが通る程度の切り込みをいれます

吸音材を少し丸めてスピーカーユニットの取付け穴から挿入します

このとき、切り込みを入れた穴にケーブルを通しておきます  
表ページの「内部構造写真」のような位置になるようにします(これはあくまでも事例ですので、製作者の好みで吸音材の位置や量を調整してチューニングを楽しんでください)

### 12 スピーカーユニットの端子にケーブルをハンダ付けします

端子には極性の表示がありますので(+側)には(赤)を(-側)には(黒)色のケーブルを接続します

### 13 スピーカーユニットを取付けます

付属のネジを対角線の順に少しづつ締め付けてゆきます

### これで完成です

・アンプに接続して音が出るか確認してください

・フルレンジならではの素直で音像定位のよい音をお楽しみください